



8%に上がった消費税、結局大金持ちの懐肥やす

遂に四月になり消費税が3%増税され8%になった。
この消費税、福祉の為ではなく、大金持ちの懐に入るのだ。

どうということか？

一九八八年に消費税が導入されて、二〇一〇年までに国民が納めた消費税は二二兆円。この間、法人三税は税率引き下げもあり、二〇八兆円減少。結局消費税は法人税減税に使われた。

会社は利益から法人税を払い、残りを配当や内部留保とする。内部留保は将来取り崩せば、配当になる。結局、法人税が減ると配当が増える。

「私も株を持っている。配当が増えてありがたい」とおっしゃる御仁。一体いくら株をお持ちで？額面が百万円として、一割配

当なら十万円。あなたの年収が三百万円で、消費支出が二百万円とすると、
200*8/108=14.8
と、約十五万円の消費税を払う。消費税が10%になると十八万円だ。配当とくらべてどうかな？

米経済誌フォーブスによるとソフトバンクの孫正義氏の資産は約一兆九千億。ユニクロの柳井氏は約一兆八千億。こういう御仁は配当がちよっと増えると何億も収入が増える。

つまり、回り回って消費税はかなり大金持ちの懐に入るのだ。

〜百円の物を買ったら八四も

取られてしまふ消費税その金結局大金持ちに

皆さんはどう思われますか？

梅池スキー場

長野県小谷村

二〇一四年三月



お彼岸の後、長野の梅池スキー場に出かけた。「春スキー」で暖かく、雪ではなく雨が降るコンディション。雪は水分を含み重い。老化学防止のトレーニングと頑張つて滑った。

絵にあるゴンドラで標高千六百m近くまで上がれば、雪質も良い。初級向きの「榛の木」ゲレンデもある。

更にリフトで千七百mまで上がると馬の背コース。馬の「背」の部分は穏やかだが、背から下りる所は急峻でスリル満点。

絵はゴンドラの中聞駅。この附近にある鐘の鳴る丘ゲレンデは幅千二百mと広くてなだらか。春休みとあって、お孫さんとのスキー客や学生が楽しそう。

ヘリコプターを使う標高二千二百mから十四キロのダウンヒルもある。挑戦してみたい。